

「主は助けを求める人の叫びを聞く」 マルコ福音書 5章 21～34 節

この、12年間出血が止まらない女性の癒しと、もうひとつは12歳の少女が亡くなり、それをイエスが生き返らせた。両方とも12年です。一つは長い間の苦しみです。もう一つはその12年分の喜びがこれからの苦しみとなるであろうと思われま

す。カウンセリングとかで、子どもの時の体験を思い出して、それが今の自分にすごく影響を与えているということはあるわけですね。だから12年間苦しんでたこの女性の癒しということは、現在の癒しだけじゃなしに、子ども時代の自分自身の癒しと関係して癒されるわけです。これが癒しの典型的なあり方、神の業なのです。これは実は、今の私達には分かりませんが、私たちにすれば突然、未来の何方かのきずきや感謝がさかのぼって、今の私たちに届くことがあるということにならないでしょうか。世を見つめると神の働きに気が付くことがあるのです。

私たちが、今、イエスに出会うということは、過去にイエスと出会うということですし、未来にイエスに出会うということに直結していくんだと思います。イエスとの関係、関わり、親密さ、ということです。だから私たちが未来に向かって生きていけるのはおおきな主の恵みです。神が死をつくられたわけでもなく、命あるものの死を喜ばれるわけではない。生かすためにこそ、神は万物をおつくりになった。イエスは、そして神様は、私たちを生かすために、未来においても...私たちが神の恵みを生かしていけるように、主は私たちに今、呼びかけておられるし、それを...命を生きていくための恵みを、過去も現在も、そして未来も、歴史を通してイエスは与えてくださっている。だから私達は信頼して、今日、歩んでいけるんだと思います。

・牧師会では来年の苫小牧地区信徒大会が日高3教会で開催予定であることが確認されました。

・地区代表者会議の苫小牧地区の書記を大槻がすることになりました。

日本キリスト教団 浦河教会

週報

No. 44 2025年2月2日



〒057-0022 北海道浦河郡浦河町昌平町東通 32

伝道師 大槻茂勝

090-9716-1353

2025年2月2日 (№44)

降誕節第6主日礼拝

司会 早坂 潔 ・ 奏楽 ヒムプレイヤー

前 奏 一同

讃美歌 8 5 (2回) 一同

祈 り 司会者

聖 書 マルコ福音書 5 章 21～42 節

(新約聖書 70 頁) 司会者

讃美歌 4 8 7 一同

説 教 「主は癒された」 牧 師

讃美歌 5 3 1 一同

献金 と 感謝 の 祈 り 一同

主 の 祈 り 6 2 一同

頌 栄 キリストの平和が (1, 5) 一同

祝 祷 牧 師

報 告

新しく来られた方 ・ 久しぶりの方の紹介

【今週の集会】

一緒に聖書を読み祈る会

2月5日 (水) 19時 於 礼拝堂

〈マルコ 12章28～34節〉(新約聖書87頁)
讃美歌 515番・17番

【次週の予定】

主日礼拝

2月9日 (日) 14時

聖書 マルコ6 章 1～6a節(71頁)

讃美歌 522番・418番

一緒に聖書を読み祈る会

2月12日 (水) 19時 於 礼拝堂

〈マルコ 12章35～37節〉(新約聖書87頁)

讃美歌 520番・18番

【来週の礼拝 司会者を決めましょう】

- ①山本充枝 ②内村直人 ③半田かおる
- ④伊藤知之 ⑤山根耕平 ⑥岸澤恵美

- ⑦高崎 晋 ⑧早坂 潔 ⑨荻野 仁
- ⑩和田智子 ⑪吉田公子 ⑫大矢英明

【集会統計】

集会名	出席者	献金
主日礼拝	18名	4,467 円
(1月26日)		(6,638 円前週)

祈祷会	4名	
(1月29日)		

能登半島地震救 援募金

1月26日 0 円 累計 19,442 円

頌 栄 キリストの平和が

1. キリストのへいわが わたしたちのこころのすみずみにまで 行きわたりますように

5. キリストのゆるしが わたしたちのこころのすみずみにまで 行きわたりますように